

令和2年度(2020年度)

令和2年度(2020年度)

管理事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業				総合計画の 体系		大綱 4 政策 1 施策 3		子育て・学び 子育てしやすいまちづくり 配慮が必要な子供・家庭への支援	
主な歳出 予算科目	母子父子寡婦福祉 資金貸付特別会計	(款)	1	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	(項)	1	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	(目)	1	母子父子寡婦福祉資金貸付金
部局名	児童部	予算執行所属		子育て給付課						
予算大事業名 母子父子寡婦福祉資金貸付事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 (項) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 (目) 母子父子寡婦福祉資金貸付事務費 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 (款) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 (項) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 (目) 母子父子寡婦福祉資金貸付事務費 償還金滞納整理事業								
事業の目的と概要										
【目的】ひとり親家庭及び寡婦に対し、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せてその扶養している児童の福祉を増進することを目的とします。										
【概要】母子父子寡婦福祉資金貸付金事業（ひとり親家庭及び寡婦に対する修学資金等の貸付） 母子父子寡婦福祉資金貸付事務事業（貸付申請の受理及び審査、貸付決定後の借用手続き及び貸付金の振込、対象債権の償還） 償還金滞納整理事業（滞納債権の督促及び整理等）										

I 事業の成果(実績)

事業の成果指標					成果指標の定義
指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
貸付件数	件			60	新規・継続で貸し付けた件数
成果の説明	令和2年度からの中核市移行に伴い大阪府から事務移譲された事業です。令和2年度は新規貸付14件、継続貸付46件でした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

◆行政コスト計算書

(単位: 千円)

勘定科目		平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	-	-	-	-
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	1,652	1,652
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	-	-	518,054	518,054
経常収入 小計 (a)		-	-	519,706	519,706
経常費用	給与関係費	-	-	-	-
	物件費	-	-	1,652	1,652
	維持補修費	-	-	-	-
	社会保障扶助費	-	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	-	-	-	-
	徴収不能引当金繰入額	-	-	37,066	37,066
	賞与引当金繰入額	-	-	-	-
	退職手当引当金繰入額	-	-	-	-
	支払利息	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	経常費用 小計 (b)		-	-	38,718
経常収支差額 (a)-(b)=(c)		-	-	480,988	480,988
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	特別収入 小計 (d)		-	-	-
特別費用	固定資産除売却損	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	特別支出 小計 (e)		-	-	-
特別収支差額 (d)-(e)=(f)		-	-	-	-
一般財源調整額 (g)		-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)		-	-	480,988	480,988
一般財源充当額		-	-	-	-
一般会計からの繰入金		-	-	11,786	11,786
一般会計への繰出金		-	-	-	-
再計		-	-	492,774	492,774

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
その他	内訳 大阪府から譲渡された債権 517,213千円 令和2年度に吹田市で調定した違約金 841千円
徴収不能引当金繰入額	内訳 貸付金 36,808千円 利子・違約金 258千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差額 B-A
		A	B	
行政サービス活動収入	-	-	2,027	2,027
行政サービス活動支出	-	-	1,652	1,652
行政サービス活動収支差額	-	-	375	375
投資活動収入	-	-	48,157	48,157
投資活動支出	-	-	40,851	40,851
投資活動収支差額	-	-	7,306	7,306
財務活動収入	-	-	22,558	22,558
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	22,558	22,558
収支差額 合計	-	-	30,239	30,239
一般財源充当額	-	-	-	-
一般会計からの繰入金	-	-	11,786	11,786
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	貸付金元金収入	48,157千円
	貸付金額	40,851千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分 析 内 容 (前 年 度 と の 増 減 理 由)
貸付1件あたりのコスト	平成30年度		円	貸付金額(40,851千円)を実績(貸付件数)で割り、算出しています。
	令和元年度		円	
	令和2年度	60 件	680,850 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	42,026	42,026	流動負債	-	-	-
未収金	-	14,258	14,258	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	43,488	43,488	賞与引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	△14,559	△14,559	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	-	22,558	22,558
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	22,558	22,558
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	-	22,558	22,558
建物・工作物	-	-	-	純資産	-	492,774	492,774
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	430,119	430,119
投資その他の資産	-	430,119	430,119	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	452,627	452,627
長期貸付金	-	452,627	452,627	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	△22,508	△22,508
徴収不能引当金	-	△22,508	△22,508	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	-	515,332	515,332
資産の部合計	-	515,332	515,332	負債及び純資産の部合計	-	515,332	515,332

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

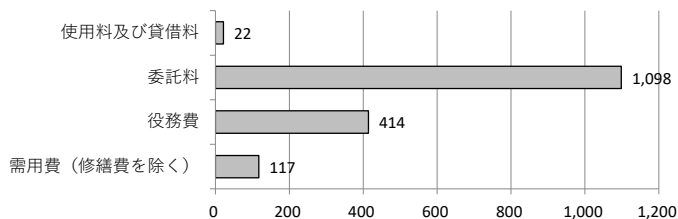
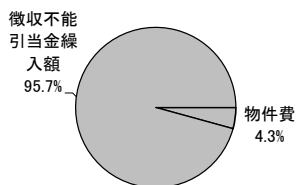
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	人	日	日	合計(千円)
給与関係費等	千円	千円	千円	0
内、時間外勤務手当	千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
長期貸付金	長期貸付金に係る債権
徴収不能引当金	長期貸付金に係る回収不能見込額

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	7.3	7.3
一般財源充当比率		-	-	-	-

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常経費の構成割合は、貸付金に係る徴収不能引当金繰入額が約96%です。物件費の内訳は、貸付システム運用保守の委託料が約66%、口座振替手数料等の役務費が約25%です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

長期的な償還が必要となる貸付事業においては、受付時点での丁寧な説明と返済計画の作成等が重要です。滞納が発生した場合は適正な時期に支払督促等を定期的に行い、償還を求める必要があります。